

美祢市新本庁舎整備基本設計 市民説明会

〈質問・意見と回答〉

● コンセプトについて

質 問	回 答
Q 「長く使い続けられる庁舎」とあるが、何年ぐらい使用の予定か。	A 鉄骨造は、耐用年数が50年だが、メンテナンスをしっかりと行い50年以上使用したい考え。
Q コンセプトを一言でいうと何か。	A 誰もが使いやすく、長く使え、3階建てでも美祢市のシンボルとして、耐震構造や台風対策といった自然災害に強い防災拠点であり、1,000年に一度の豪雨でも耐えられる庁舎であるということ。

● 敷地・建物概要について

質 問	回 答
Q 3階建てとなっているが、柱のメンテナンスが必要となってくるのではないか。	A 50年以上使用となるとメンテナンスは欠かせない。何年かの節目でメンテナンスを行う必要はある。
Q 市有林を活用した木造建築物としないのか。	A 検討したが、事業費が増額となるため鉄骨造とした。木材は一部使用予定である。
Q 第2別館の今後の利用用途は何か。	A 倉庫・書庫として利用予定。

● 庁舎配置について

質 問	回 答
Q 将来的に敷地内を市内循環バスが停車する予定はないか。	A 庁舎敷地に隣接する国道にバス停があり、新庁舎は、そのバス停からより利用しやすい造りとしている。
Q 市職員の駐車場はどうするのか。敷地外に設けるということだが、数百台も止められるような場所が付近にあるのか。	A 現在のままでは困難。厳格に徒歩や自転車通勤、公共交通機関の利用を促進し、自動車通勤を最小限としたい。
Q 新庁舎と市民会館との間が狭いのではないか。車が離合できるのか。	A 建物が接近したことにより狭く見えるかもしれないが、実際は現在と同等又は広くなるので、車の離合は可能。

Q ボーリング調査は何箇所で行われているか。	A 新庁舎の柱の位置付近で全10箇所の詳細なボーリング調査を行っているところ。
------------------------	---

## ● 平面計画について

質 問	回 答
Q 議場を1階にして市民利用を図ってはどうか。	A 様々なプランが設計事務所より提示されたが、最終的には最上階という意見となった。
Q 議場の後部を収納可能な座席（ロールバックチェア）とすれば市民利用が図れるのではないか。	A 検討する。
Q 庁舎内、特に執務室（窓口）や市民の憩いの場所が狭いのではないか。	A 事業費縮減の影響で面積を縮小することとなった。ただし、庁舎の斜めのラインに沿ってカウンターを設けているので、窓口は広いと思われる。 執務室は、現在の職員数で換算しており、最大限に庁舎の空間を利用した設計としている。
Q 新庁舎の机の向きは、カウンターに対してどうなる予定か。また、ウイルス対策はどうなっているか。	A 机の向きは検討中だが、カウンターに対して2列又は1列の横向き。 ウイルス対策は、現庁舎でも設置しているアクリル板及び天井から吊るすシートも検討している。
Q 1つの課の幅は、どのくらいとなる予定か。 新庁舎では、窓口が片側で奥行きが長いので、窓口に近い職員だけが来庁者対応することになるのではないか。	A 執務室内の狭隘化を改善するため、幅については広めの設計としている。 窓口業務は、分担して行うので、一人の職員だけが負担を強いられるようなことはない。
Q 人口減やコロナ禍の影響でテレワークも推進されている。働き方改革として、机の配置は従来の並びでなく、フリーアドレスを採用してはどうか。	A 民間はテレワークや在宅勤務が進んでいるが、行政は窓口業務が多い。全国規模でシステムのセキュリティが確保できるようになれば、行政でも今後進んでいく分野と思われる。新庁舎では、執務室内の各部署間には壁がない設計となっている。まだ検討中だが、部署によっては、今後フリーアドレスも可能になっていくだろう。
Q 空調は何箇所で行う予定か。	A 空調は、今後一括管理をする予定。

## ● 断面・立面計画について

質 問	回 答
Q 火災発生時、屋上を避難場所として考えているか。庇を伝って避難できるようにしてはどうか。	A 屋上は、避難場所として考えていない。建築基準に沿って建設するので、最低でも2方向避難は遵守する。
Q ソーラーパネルは導入しないのか。	A 新庁舎の立地では、ソーラーパネルの設置は不向き。事業費も削減しなければならないので、設置はしない。

## ● その他

質 問	回 答
Q ガラス張りとなっているようだが、近年の大きな台風には耐えられるのか。	A 飛散物はあると思うが、通常の台風による風速には耐えられる想定。
Q 以前建設された公共施設で、階段の色が一色だったので段差が見えづらかった。淵の部分だけでも色を変える等、配色に気を付けていただきたい。	A 社会福祉協議会や老人クラブ等の意見を聞き、誰でも使いやすいような設計を目指す。
Q 具体的にどのくらいの事業費が削減されることとなったのか。社会福祉協議会の複合化はどうなったのか。	A 新本庁舎の本体工事について、基本計画では約33億円としていたが、事業費見直しにより20億円程度となったことにより、庁舎面積も2/3に縮小した。よって、当初複合することで検討していた社会福祉協議会は、縮小の影響で複合しないこととなった。
Q 業務を止めずに現庁舎から新庁舎への引っ越しは可能なのか。	A 引っ越し作業は、休日に行うこととなるだろう。一度に全部ではなく、徐々に行うこととなる。

## ● ご意見

① 屋根や道路に落葉して堆積するような付近の住民生活に影響のある樹木は、植樹しない方がよい。
② 成長していく樹木を植樹すると剪定のランニングコストがかかるので、樹木の選定には気を付けること。